

倉吉市国民健康保険
ポテンシャル分析
概要版

令和4年2月
倉吉市

医療費分析取り組みの背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとしています。また、データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果や診療報酬明細書等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととあります。

本ポテンシャル分析では「医療費」「患者数」「重症疾患患者数」「多受診患者数」「ジェネリック医薬品普及状況」「薬剤併用禁忌対象者」に至るまで、様々な角度から倉吉市国民健康保険を分析し、課題の洗い出しを行います。これらの結果を受け、対策が必要と判断した課題に対し、データヘルス計画にて策定した事業の実施に活用することとします。

※データ分析範囲と期間

データ化範囲(分析対象)

- ・入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

単年分析 令和2年3月～令和3年2月診療分(12カ月分)

年度分析 平成28年度…平成28年3月～平成29年2月診療分(12カ月分)
平成29年度…平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)
平成30年度…平成30年3月～平成31年2月診療分(12カ月分)
平成31年度…平成31年3月～令和2年2月診療分(12カ月分)
令和2年度…令和2年3月～令和3年2月診療分(12カ月分)

- ・健康診査データ

単年分析 令和2年4月～令和3年3月健診分(12カ月分)

年度分析 平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)
平成29年度…平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)
平成30年度…平成30年4月～平成31年3月健診分(12カ月分)
平成31年度…平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)
令和2年度…令和2年4月～令和3年3月健診分(12カ月分)

基礎統計

当医療費統計は、倉吉市国民健康保険における、令和2年3月～令和3年2月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外・調剤レセプトを対象とし分析しました。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りです。被保険者数は平均9,443人、レセプト件数は平均12,186件、患者数は平均5,181人となりました。また、患者一人当たりの医療費は平均56,917円となりました。

【単年度】 基礎統計

		令和2年3月	令和2年4月	令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月	
A	被保険者数(人)	8,983	9,180	9,223	9,296	9,349	9,407	9,480	
B	レセプト件数(件)	入院外	7,085	6,895	6,062	6,979	6,988	6,590	6,726
		入院	257	227	204	246	232	225	229
		調剤	5,545	5,430	4,760	5,420	5,442	5,082	5,192
		合計	12,887	12,552	11,026	12,645	12,662	11,897	12,147
C	医療費(円) ※	303,731,430	293,974,880	250,528,390	306,691,120	306,253,310	279,967,890	278,756,490	
D	患者数(人) ※	5,392	5,298	4,772	5,245	5,328	5,095	5,177	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	33,812	32,023	27,163	32,992	32,758	29,762	29,405	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	23,569	23,421	22,722	24,254	24,187	23,533	22,949	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	56,330	55,488	52,500	58,473	57,480	54,950	53,845	
B/A	受診率(%)	143.5%	136.7%	119.5%	136.0%	135.4%	126.5%	128.1%	
D/A	有病率(%)	60.0%	57.7%	51.7%	56.4%	57.0%	54.2%	54.6%	

		令和2年10月	令和2年11月	令和2年12月	令和3年1月	令和3年2月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	9,548	9,601	9,665	9,756	9,824	9,443		
B	レセプト件数(件)	入院外	7,180	6,633	7,011	6,245	6,416	6,734	80,810
		入院	227	233	237	258	251	236	2,826
		調剤	5,515	5,103	5,433	4,797	4,878	5,216	62,597
		合計	12,922	11,969	12,681	11,300	11,545	12,186	146,233
C	医療費(円) ※	297,173,150	294,351,760	319,492,190	305,935,590	301,976,560	294,902,730	3,538,832,760	
D	患者数(人) ※	5,415	5,124	5,368	4,888	5,073	5,181	62,175	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	31,124	30,658	33,057	31,359	30,739	31,231		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	22,997	24,593	25,195	27,074	26,156	24,200		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	54,880	57,446	59,518	62,589	59,526	56,917		
B/A	受診率(%)	135.3%	124.7%	131.2%	115.8%	117.5%	129.1%		
D/A	有病率(%)	56.7%	53.4%	55.5%	50.1%	51.6%	54.9%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は令和2年3月～令和3年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

基礎統計

平成28年度から令和2年度における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプトを対象とし年度別に分析しました。令和2年度を平成28年度と比較すると、一カ月平均の被保険者数9,443人は、平成28年度10,254人より811人減少しており、医療費35億3,883万円は平成28年度40億6,153万円より5億2,270万円減少しています。また、一カ月平均の患者数5,181人は、平成28年度6,013人より832人減少しています。

【年度別】 基礎統計

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
A	一カ月平均の被保険者数(人)	10,254	10,279	9,889	9,554	9,443	
B	レセプト件数(件)	入院外	93,836	91,476	89,491	87,038	80,810
		入院	3,417	3,304	3,204	3,086	2,826
		調剤	72,005	69,783	68,187	66,837	62,597
		合計	169,258	164,563	160,882	156,961	146,233
C	医療費(円) ※	4,061,531,690	3,871,912,680	3,763,426,040	3,703,665,350	3,538,832,760	
D	一カ月平均の患者数(人) ※	6,013	5,823	5,679	5,503	5,181	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	396,092	376,682	380,567	387,656	374,770	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	23,996	23,528	23,392	23,596	24,200	
D/A	有病率(%)	58.6%	56.6%	57.4%	57.6%	54.9%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年3月～令和3年2月診療分(60カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一カ月平均の患者数…同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人として集計。

高額レセプトの件数及び割合

発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとして、以下の通り集計しました。高額レセプトは月間平均114件発生しており、レセプト件数全体の0.9%を占めます。高額レセプトの医療費は月間平均1億1,004万円程度となり、医療費全体の37.3%を占めています。

【単年度】 高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		令和2年3月	令和2年4月	令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月
A	レセプト件数(件)	12,887	12,552	11,026	12,645	12,662	11,897	12,147
B	高額レセプト件数(件)	114	112	102	119	111	112	103
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.8%
C	医療費全体(円) ※	303,731,430	293,974,880	250,528,390	306,691,120	306,253,310	279,967,890	278,756,490
D	高額レセプトの医療費(円) ※	101,219,290	106,766,490	87,345,200	118,452,330	114,147,570	104,794,900	93,270,680
E	その他レセプトの医療費(円) ※	202,512,140	187,208,390	163,183,190	188,238,790	192,105,740	175,172,990	185,485,810
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	33.3%	36.3%	34.9%	38.6%	37.3%	37.4%	33.5%

		令和2年10月	令和2年11月	令和2年12月	令和3年1月	令和3年2月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	12,922	11,969	12,681	11,300	11,545	12,186	146,233
B	高額レセプト件数(件)	106	110	124	129	127	114	1,369
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	0.9%	1.0%	1.1%	1.1%	0.9%	
C	医療費全体(円) ※	297,173,150	294,351,760	319,492,190	305,935,590	301,976,560	294,902,730	3,538,832,760
D	高額レセプトの医療費(円) ※	104,062,990	113,274,870	125,054,490	128,902,560	123,153,770	110,037,095	1,320,445,140
E	その他レセプトの医療費(円) ※	193,110,160	181,076,890	194,437,700	177,033,030	178,822,790	184,865,635	2,218,387,620
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	35.0%	38.5%	39.1%	42.1%	40.8%	37.3%	

平成28年度から令和2年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示します。令和2年度高額レセプト件数1,369件は平成28年度1,483件より114件減少しており、令和2年度高額レセプトの医療費13億2,045万円は平成28年度15億2,090万円より2億45万円減少しています。

【年度別】 高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
A	レセプト件数(件)	169,258	164,563	160,882	156,961	146,233
B	高額レセプト件数(件)	1,483	1,421	1,421	1,412	1,369
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%
C	医療費全体(円) ※	4,061,531,690	3,871,912,680	3,763,426,040	3,703,665,350	3,538,832,760
D	高額レセプトの医療費(円) ※	1,520,898,190	1,367,836,470	1,363,501,320	1,345,716,830	1,320,445,140
E	その他レセプトの医療費(円) ※	2,540,633,500	2,504,076,210	2,399,924,720	2,357,948,520	2,218,387,620
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	37.4%	35.3%	36.2%	36.3%	37.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は平成28年3月～令和3年2月診療分(60カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

高額レセプト患者の疾病傾向

高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に分類した結果、高額レセプト発生患者数が多い疾病分類は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「白内障」「骨折」等でした。

【単年度】 高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵体部癌, 卵巣癌	49	158,006,490	68,255,480	226,261,970	4,617,591
2	0702	白内障	老人性初発白内障, 白内障	35	22,742,850	12,614,240	35,357,090	1,010,203
2	1901	骨折	大腿骨頸部骨折, 腰椎圧迫骨折, 橈骨遠位端骨折	35	64,134,310	8,455,550	72,589,860	2,073,996
4	0903	その他の心疾患	慢性心不全, うっ血性心不全, 僧帽弁閉鎖不全症	28	75,047,100	16,795,090	91,842,190	3,280,078
5	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 胃前庭部癌, 噴門癌	19	43,337,080	31,576,540	74,913,620	3,942,822
5	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 統合失調症様状態	19	34,481,180	10,950,750	45,431,930	2,391,154
7	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺癌, 中葉肺癌, 上葉肺癌	18	47,880,730	51,083,340	98,964,070	5,498,004
7	0906	脳梗塞	アテローム血栓性脳梗塞, 塞栓性脳梗塞, アテローム血栓性脳梗塞・急性期	18	42,727,840	3,563,040	46,290,880	2,571,716
9	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳房上外側部乳癌, 乳癌, 乳房中央部乳癌	15	19,429,200	32,989,850	52,419,050	3,494,603
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	黄斑円孔, 網膜前膜, 黄斑部浮腫	15	11,436,180	9,761,740	21,197,920	1,413,195
9	1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症, 急性胆のう炎, 胆石性胆のう炎	15	18,094,460	2,494,680	20,589,140	1,372,609
9	1113	その他の消化器系の疾患	術後癒着性イレウス, S状結腸憩室炎, 虚血性腸炎	15	17,425,790	6,865,560	24,291,350	1,619,423
9	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 頸椎症性脊髄症, 頸椎後縦靭帯骨化症	15	28,135,260	4,250,650	32,385,910	2,159,061

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

高額レセプト患者の疾病傾向

【年度別】 高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成28年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 腎癌, 胸部中部食道癌	52	3,476,165
	2	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 橈骨遠位端骨折, 大腿骨転子部骨折	43	2,298,638
	3	0906 脳梗塞	多発性脳梗塞, 脳梗塞後遺症, アテローム血栓性脳梗塞	40	2,278,029
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 統合失調感情障害	26	2,839,396
	5	0105 ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型代償性肝硬変, C型肝炎	23	5,107,651
平成29年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膀胱癌, 胸部中部食道癌	49	3,764,698
	2	1901 骨折	橈骨遠位端骨折, 大腿骨頸部骨折, 膝蓋骨骨折	29	2,242,427
	3	0906 脳梗塞	多発性脳梗塞, アテローム血栓性脳梗塞・急性期, 血栓性脳梗塞	26	2,202,729
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 統合失調症様状態, 統合失調感情障害	22	2,628,111
	5	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 慢性心不全, 非弁膜症性発作性心房細動	21	2,793,300
平成30年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 卵巣癌, 膵尾部癌	48	4,173,723
	2	0903 その他の心疾患	非弁膜症性心房細動, 慢性心不全, 特発性拡張型心筋症	31	4,053,805
	3	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 踵骨骨折, 膝蓋骨開放骨折	28	2,163,959
	4	0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 幽門前庭部癌, 胃前庭部癌	27	3,746,602
	5	0906 脳梗塞	心原性脳塞栓症, 血栓性脳梗塞, ラクナ梗塞	25	1,994,268
平成31年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 膀胱癌	58	4,118,291
	2	1901 骨折	大腿骨転子部骨折, 橈骨遠位端骨折, 大腿骨頸部骨折	37	2,317,429
	3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 統合失調症様状態, 急性一過性精神病性障害	25	2,477,176
	4	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌, 上葉小細胞肺癌	24	4,243,717
	5	0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 噴門癌, 胃前庭部癌	23	3,095,026
令和2年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵体部癌, 卵巣癌	49	4,617,591
	2	0702 白内障	老人性初発白内障, 白内障	35	1,010,203
	2	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 腰椎圧迫骨折, 橈骨遠位端骨折	35	2,073,996
	4	0903 その他の心疾患	慢性心不全, うっ血性心不全, 僧帽弁閉鎖不全症	28	3,280,078
	5	0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 胃前庭部癌, 噴門癌	19	3,942,822

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

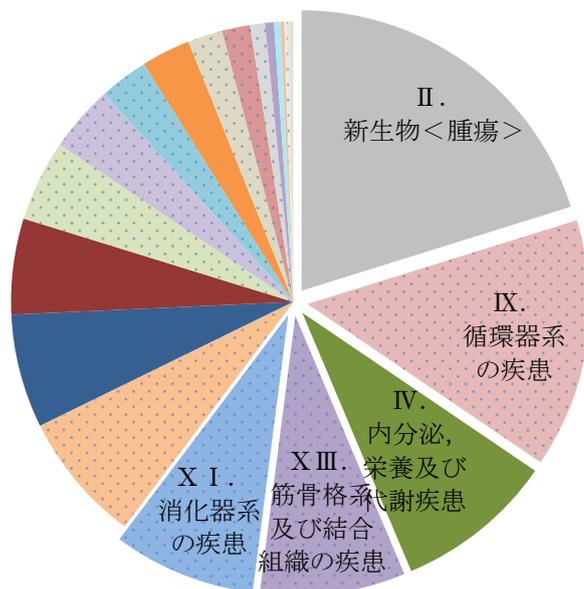
大分類による疾病別医療費統計

【単年度】 疾病項目別医療費割合

疾病項目別医療費割合は、「新生物<腫瘍>」「循環器系の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「消化器系の疾患」の医療費が高い割合を占めています。

※大分類…疾病罹患の状況を概括できるようにした疾病分類表に基づく分類。

疾病項目別医療費割合(令和2年3月～令和3年2月診療分)

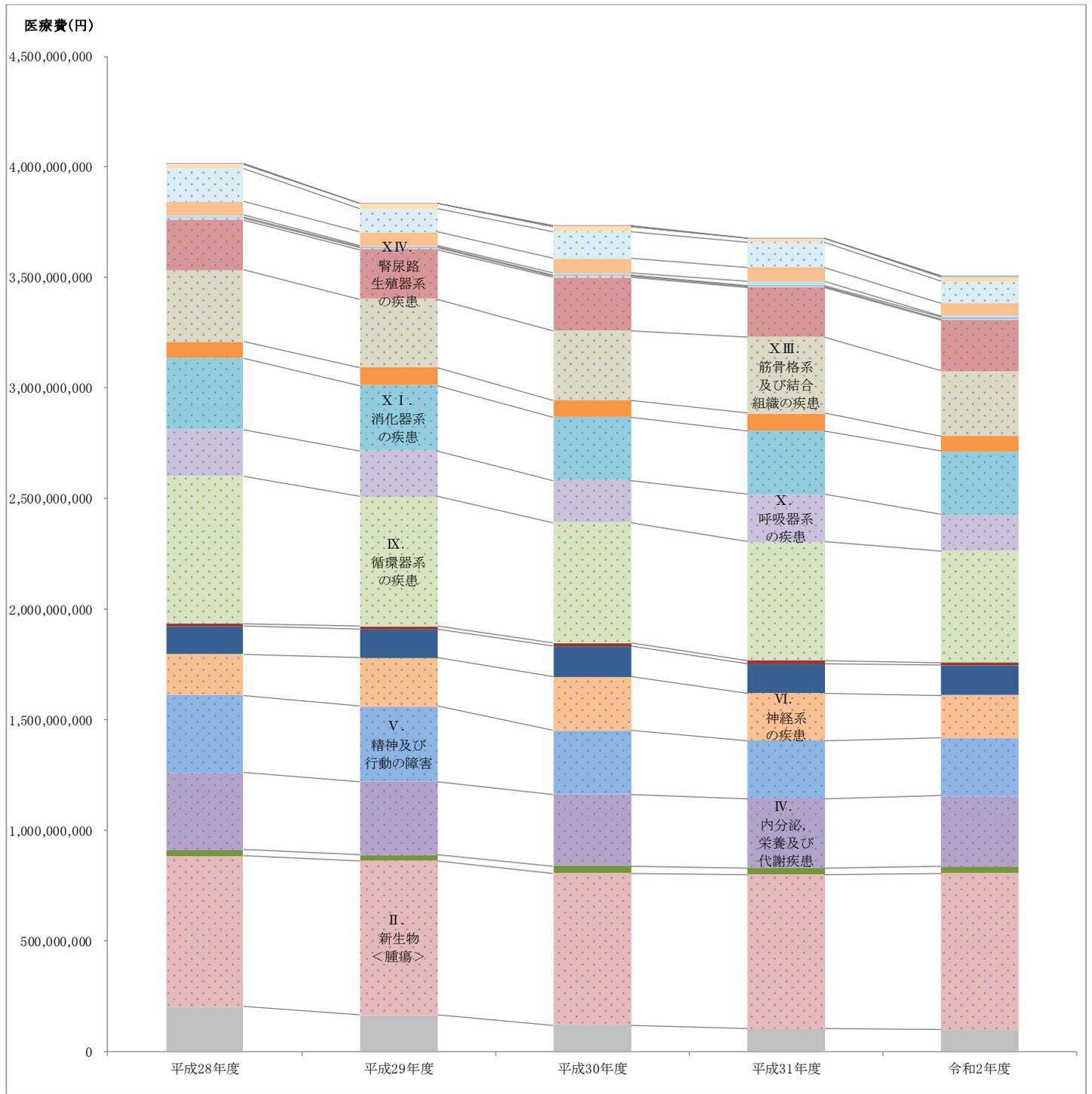


大分類による疾病別統計(令和2年3月～令和3年2月診療分)

順位	疾病分類(大分類)	医療費(円)	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	II 新生物<腫瘍>	706,916,833	20.2%	2,714
2	IX 循環器系の疾患	504,250,569	14.4%	4,430
3	IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	319,840,308	9.1%	4,925
4	XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	292,261,491	8.3%	3,823
5	XI 消化器系の疾患	286,455,187	8.2%	5,385
6	V 精神及び行動の障害	263,276,692	7.5%	1,348
7	XIV 腎尿路生殖器系の疾患	230,103,618	6.6%	2,354
8	VI 神経系の疾患	193,300,290	5.5%	2,364
9	X 呼吸器系の疾患	164,380,813	4.7%	3,209
10	VII 眼及び付属器の疾患	134,222,946	3.8%	2,935
11	I 感染症及び寄生虫症	98,944,897	2.8%	2,647
12	XIX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	98,450,693	2.8%	1,837
13	XII 皮膚及び皮下組織の疾患	69,904,853	2.0%	2,807
14	XVIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	56,056,100	1.6%	2,086
15	III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	30,022,111	0.9%	917
16	XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	18,197,858	0.5%	826
17	VIII 耳及び乳様突起の疾患	12,770,561	0.4%	746
18	XVI 周産期に発生した病態	7,519,030	0.2%	17
19	XVII 先天奇形, 変形及び染色体異常	6,977,330	0.2%	99
20	XV 妊娠, 分娩及び産じょく	6,387,700	0.2%	60
21	XXII 特殊目的用コード	4,289,891	0.1%	201
22	分類外	90,348	0.0%	16

大分類による疾病別医療費統計

【年度別】 疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年3月～令和3年2月診療分(60カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

中分類による疾病別医療費統計

【単年度】 疾病項目別医療費割合

生活習慣病にかかる医療費と患者数について、上位5疾病は以下のとおりです。

※中分類…疾病罹患の状況を概括できるようにした疾病分類表に基づく分類。

中分類による疾病別統計(医療費上位5疾病)(令和2年3月～令和3年2月診療分)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	230,499,434	6.6%	1,225
2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及 び妄想性障害	155,015,507	4.4%	531
3	1402 腎不全	148,701,087	4.2%	240
4	0402 糖尿病	145,580,661	4.2%	3,022
5	0901 高血圧性疾患	141,154,103	4.0%	3,428

中分類による疾病別統計(患者数上位5疾病)(令和2年3月～令和3年2月診療分)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	141,154,103	3,428	38.2%
2	0403 脂質異常症	96,585,820	3,353	37.3%
3	0402 糖尿病	145,580,661	3,022	33.6%
4	1113 その他の消化器系の疾患	135,901,201	2,763	30.8%
5	1105 胃炎及び十二指腸炎	43,286,704	2,664	29.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は令和2年3月～令和3年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別医療費統計

【年度別】 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※
平成28年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	212,284,414	5.3%	1,005
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	210,833,266	5.3%	513
	3	0903 その他の心疾患	192,292,846	4.8%	1,517
	4	0901 高血圧性疾患	184,227,212	4.6%	3,635
	5	0402 糖尿病	160,006,198	4.0%	3,319
	6	1113 その他の消化器系の疾患	151,715,483	3.8%	2,948
	7	1402 腎不全	151,493,416	3.8%	237
	8	0105 ウイルス性肝炎	136,186,304	3.4%	875
	9	0403 脂質異常症	120,924,251	3.0%	3,542
	10	0606 その他の神経系の疾患	95,109,078	2.4%	2,358
平成29年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	216,543,551	5.6%	1,058
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	205,367,272	5.4%	513
	3	0901 高血圧性疾患	169,070,397	4.4%	3,496
	4	1402 腎不全	154,217,800	4.0%	246
	5	0402 糖尿病	152,616,330	4.0%	3,181
	6	1113 その他の消化器系の疾患	142,933,841	3.7%	2,888
	7	0903 その他の心疾患	136,306,180	3.6%	1,504
	8	0606 その他の神経系の疾患	111,103,415	2.9%	2,318
	9	0403 脂質異常症	110,507,493	2.9%	3,417
	10	0105 ウイルス性肝炎	108,629,225	2.8%	825
平成30年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	226,907,760	6.1%	1,119
	2	0903 その他の心疾患	175,049,414	4.7%	1,487
	3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	161,235,432	4.3%	516
	4	1402 腎不全	155,282,655	4.2%	251
	5	0901 高血圧性疾患	151,432,542	4.1%	3,537
	6	0402 糖尿病	149,462,109	4.0%	3,135
	7	1113 その他の消化器系の疾患	142,470,532	3.8%	2,937
	8	0606 その他の神経系の疾患	133,761,782	3.6%	2,277
	9	0403 脂質異常症	102,550,332	2.7%	3,432
	10	0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	94,146,664	2.5%	505
平成31年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	231,053,469	6.3%	1,224
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	160,639,598	4.4%	518
	3	1402 腎不全	154,821,676	4.2%	249
	4	1113 その他の消化器系の疾患	148,769,275	4.0%	2,888
	5	0903 その他の心疾患	146,957,618	4.0%	1,454
	6	0901 高血圧性疾患	146,904,006	4.0%	3,431
	7	0402 糖尿病	143,491,038	3.9%	3,044
	8	0606 その他の神経系の疾患	124,814,732	3.4%	2,190
	9	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	104,693,012	2.8%	577
	10	0403 脂質異常症	104,164,280	2.8%	3,394
令和2年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	230,499,434	6.6%	1,225
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	155,015,507	4.4%	531
	3	1402 腎不全	148,701,087	4.2%	240
	4	0402 糖尿病	145,580,661	4.2%	3,022
	5	0901 高血圧性疾患	141,154,103	4.0%	3,428
	6	1113 その他の消化器系の疾患	135,901,201	3.9%	2,763
	7	0903 その他の心疾患	135,773,861	3.9%	1,397
	8	0606 その他の神経系の疾患	114,110,176	3.3%	2,106
	9	0403 脂質異常症	96,585,820	2.8%	3,353
	10	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	95,888,247	2.7%	504

中分類による疾病別医療費統計

【年度別】 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

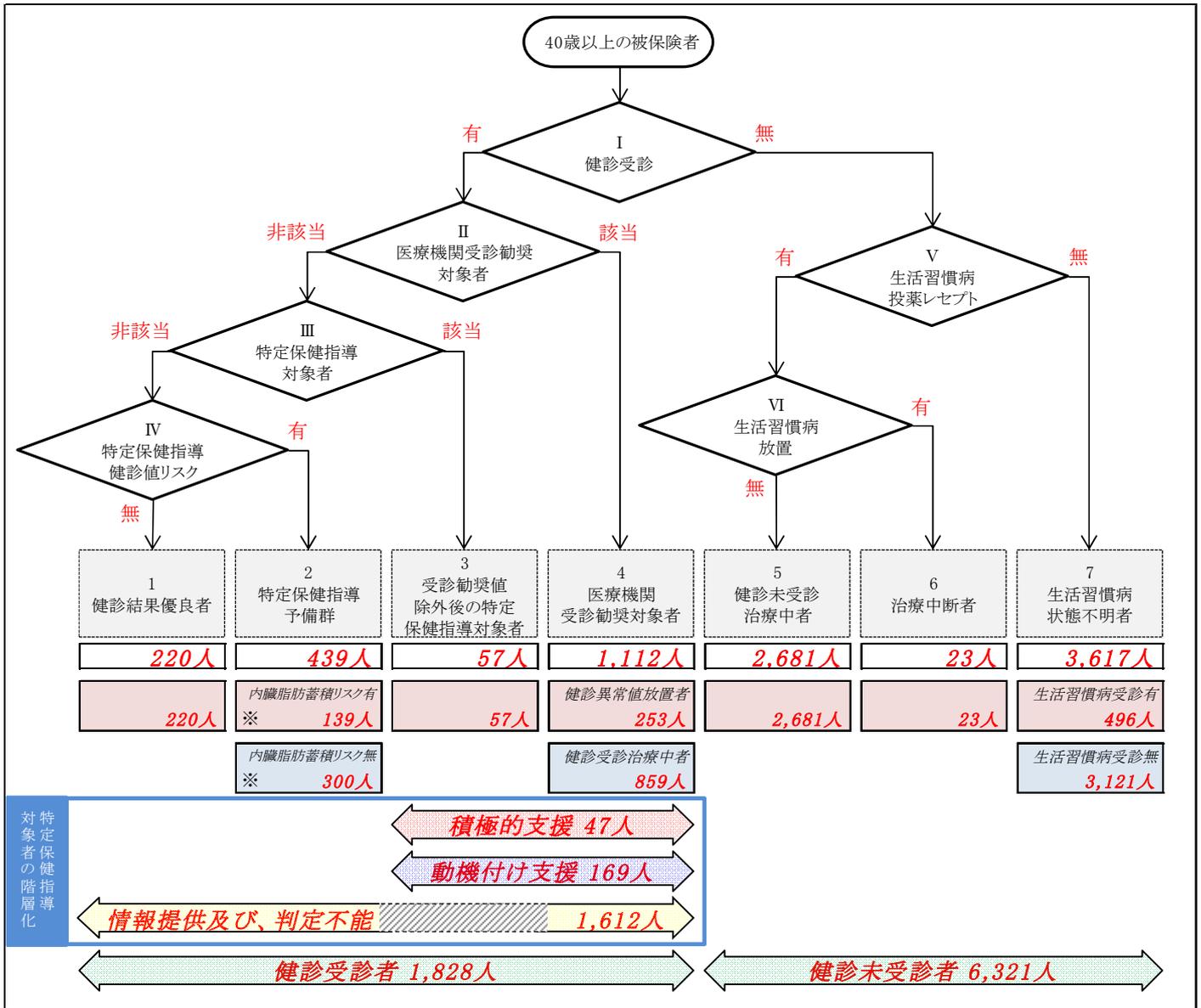
年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成28年度	1	0901 高血圧性疾患	184,227,212	3,635	34.0%
	2	0403 脂質異常症	120,924,251	3,542	33.1%
	3	0402 糖尿病	160,006,198	3,319	31.0%
	4	1105 胃炎及び十二指腸炎	52,486,340	3,123	29.2%
	5	1113 その他の消化器系の疾患	151,715,483	2,948	27.6%
	6	0703 屈折及び調節の障害	21,299,648	2,934	27.4%
	7	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	62,361,487	2,589	24.2%
	8	1202 皮膚炎及び湿疹	42,406,710	2,454	22.9%
	9	1110 その他の肝疾患	29,963,175	2,414	22.6%
	10	0606 その他の神経系の疾患	95,109,078	2,358	22.0%
平成29年度	1	0901 高血圧性疾患	169,070,397	3,496	34.0%
	2	0403 脂質異常症	110,507,493	3,417	33.2%
	3	0402 糖尿病	152,616,330	3,181	30.9%
	4	1105 胃炎及び十二指腸炎	47,382,649	2,905	28.2%
	5	1113 その他の消化器系の疾患	142,933,841	2,888	28.1%
	6	0703 屈折及び調節の障害	19,584,362	2,815	27.3%
	7	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	61,754,824	2,428	23.6%
	8	1202 皮膚炎及び湿疹	43,212,997	2,336	22.7%
	9	0606 その他の神経系の疾患	111,103,415	2,318	22.5%
	10	1110 その他の肝疾患	26,485,063	2,255	21.9%
平成30年度	1	0901 高血圧性疾患	151,432,542	3,537	35.4%
	2	0403 脂質異常症	102,550,332	3,432	34.4%
	3	0402 糖尿病	149,462,109	3,135	31.4%
	4	1113 その他の消化器系の疾患	142,470,532	2,937	29.4%
	5	1105 胃炎及び十二指腸炎	44,811,957	2,853	28.6%
	6	0703 屈折及び調節の障害	16,504,960	2,759	27.6%
	7	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	67,967,320	2,407	24.1%
	8	1110 その他の肝疾患	30,016,826	2,295	23.0%
	9	1202 皮膚炎及び湿疹	40,431,146	2,282	22.9%
	10	0606 その他の神経系の疾患	133,761,782	2,277	22.8%
平成31年度	1	0901 高血圧性疾患	146,904,006	3,431	35.9%
	2	0403 脂質異常症	104,164,280	3,394	35.5%
	3	0402 糖尿病	143,491,038	3,044	31.8%
	4	1113 その他の消化器系の疾患	148,769,275	2,888	30.2%
	5	1105 胃炎及び十二指腸炎	42,504,938	2,795	29.2%
	6	0703 屈折及び調節の障害	15,433,949	2,664	27.8%
	7	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	65,530,728	2,290	23.9%
	8	1202 皮膚炎及び湿疹	38,742,883	2,277	23.8%
	9	0606 その他の神経系の疾患	124,814,732	2,190	22.9%
	10	1110 その他の肝疾患	24,110,702	2,154	22.5%
令和2年度	1	0901 高血圧性疾患	141,154,103	3,428	38.2%
	2	0403 脂質異常症	96,585,820	3,353	37.3%
	3	0402 糖尿病	145,580,661	3,022	33.6%
	4	1113 その他の消化器系の疾患	135,901,201	2,763	30.8%
	5	1105 胃炎及び十二指腸炎	43,286,704	2,664	29.7%
	6	0703 屈折及び調節の障害	15,034,610	2,429	27.0%
	7	0606 その他の神経系の疾患	114,110,176	2,106	23.4%
	8	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	56,056,100	2,086	23.2%
	9	1202 皮膚炎及び湿疹	32,590,589	2,085	23.2%
	10	1110 その他の肝疾患	28,024,901	2,077	23.1%

保健事業実施に係る分析結果

40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類しました。

医療機関受診勧奨対象者のうち、健診受診後に医療機関を受診していない「健診異常値放置者」は253人、健診未受診者のうち生活習慣病の治療を中断している「治療中断者」は23人となっています。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析(令和2年3月～令和3年2月診療分, 令和2年4月～令和3年3月健診分)



【グループ別説明】

健診受診あり

- 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
- 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 内臓脂肪蓄積リスク有 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 内臓脂肪蓄積リスク無 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
- 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
- 医療機関受診勧奨対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
 健診異常値放置者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診があるが、または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため医療機関受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。

健診受診なし

- 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
- 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
- 生活習慣病状態不明者 …生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

受診行動適正化に係る分析

12カ月間で重複受診者は38人、頻回受診者は172人、重複服薬者は258人存在しています。

医療機関受診状況

(令和2年3月～令和3年2月診療分)

重複受診者 ※	38人
頻回受診者 ※	172人
重複服薬者 ※	258人

※**重複受診者数**…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

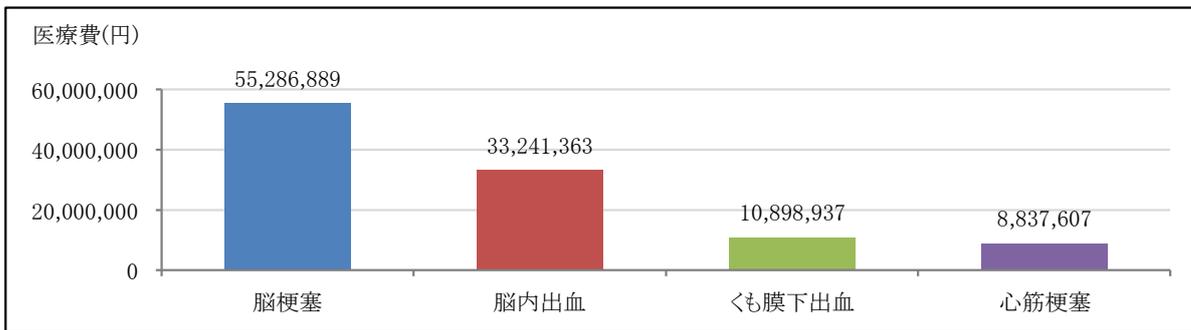
※**頻回受診者数**…1カ月間に15回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

※**重複服薬者数**…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

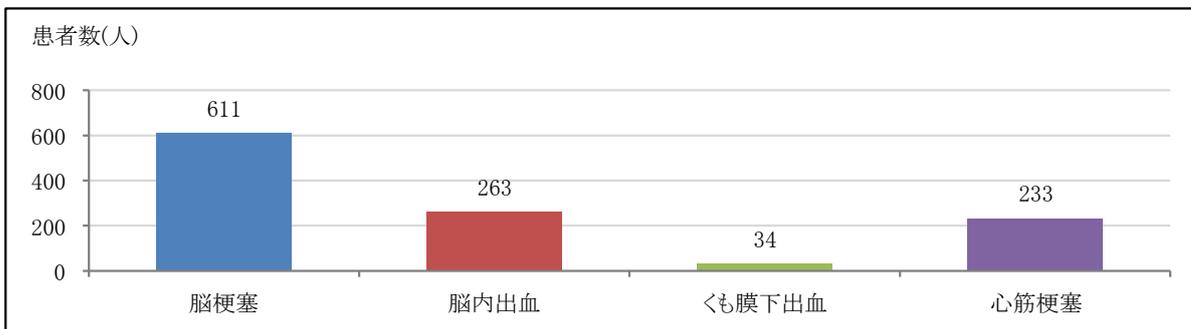
脳卒中・心筋梗塞に係る分析

脳梗塞の患者数が多く、特に対策が必要な疾病であると考えられます。また、脳卒中・心筋梗塞においては再発率が高く、治療完了後の生活習慣の改善が必要となります。

脳卒中(脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血)、心筋梗塞における医療費(令和2年3月～令和3年2月診療分)



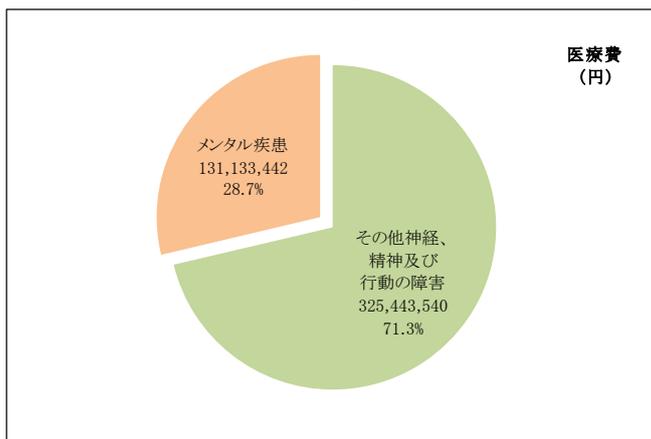
脳卒中(脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血)、心筋梗塞における患者数(令和2年3月～令和3年2月診療分)



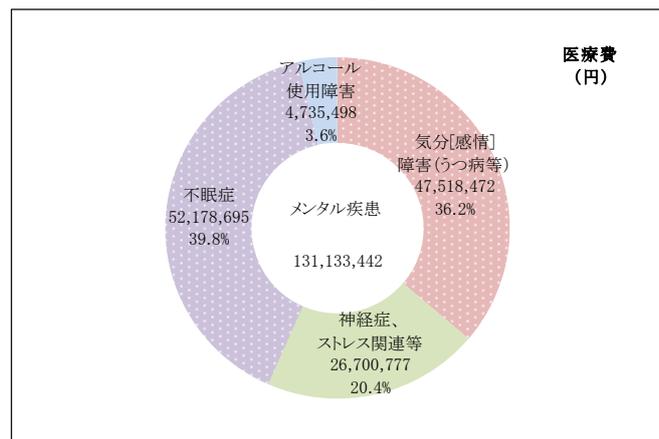
メンタル疾患に係る分析

医療費全体における「V. 精神及び行動の障害」「VI. 神経系の疾患」の割合は13.0%であった。このうち“メンタル疾患”の割合を集計すると28.7%であった。「気分[感情]障害(うつ病等)」、「不眠症」が多くを占めており、対策が必要な疾病であると考えられる。

神経、精神及び行動の障害におけるメンタル疾患の割合(令和2年3月～令和3年2月診療分)



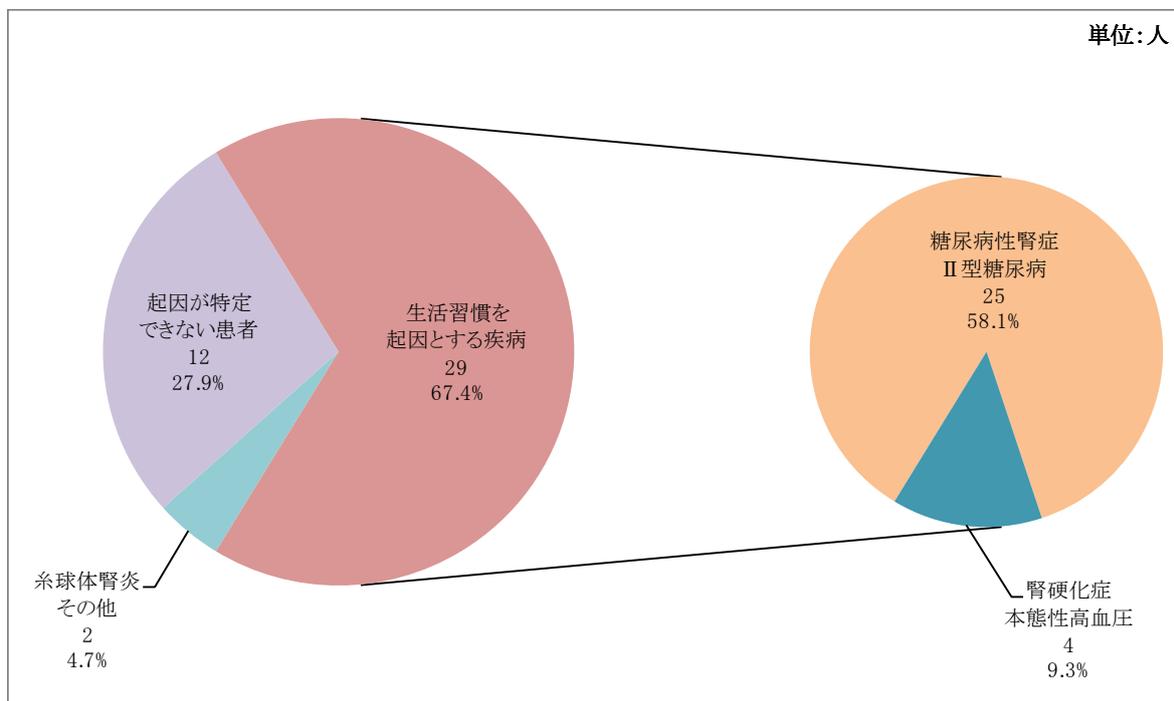
メンタル疾患の医療費割合(令和2年3月～令和3年2月診療分)



糖尿病性腎症に係る分析

倉吉市の人工透析患者の分析を行い、起因が明らかとなった患者のうち、67.4%が生活習慣を起因とするものであり、その58.1%が糖尿病を起因として透析となる糖尿病性腎症であることが分かりました。

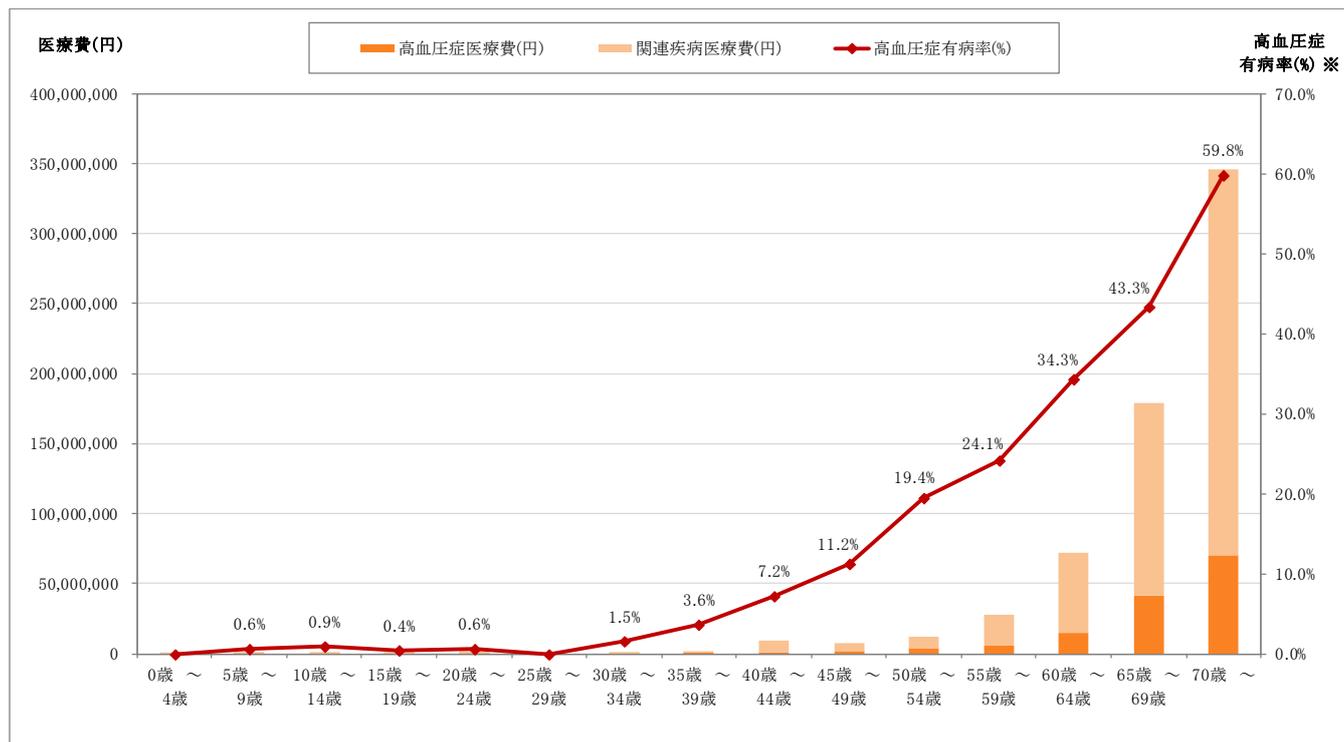
人工透析患者に対する分析(令和2年3月～令和3年2月診療分)



高血圧性疾患に係る分析

倉吉市の高血圧性疾患の分析を行い、特に高年齢層において患者数が増え医療費も増大する傾向にある事が分かりました。

年齢層別 高血圧症の医療費及び有病率(令和2年3月～令和3年2月診療分)



※高血圧症有病率…被保険者数に占める高血圧症患者数の割合。

※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」

COPD(慢性閉塞性肺疾患)に係る分析

COPD患者の実態と潜在患者について以下の通りです。日本においてCOPDの治療を行っている患者は約26万1千人、それに対して潜在患者は530万人と推定されています。一方、倉吉市国民健康保険の被保険者を対象に令和2年3月～令和3年2月診療分(12カ月分)で分析したところ、治療を行っている患者は101人でした。日本における治療中患者と潜在患者の比率を参考に、倉吉市国民健康保険被保険者に換算すると、潜在患者は2,020人程度と想定されます。

COPDに関する分析(令和2年3月～令和3年2月診療分)

対象範囲	治療患者数	潜在患者数
日本	26万1千人 ※	推定530万人 ※
倉吉市国民健康保険 被保険者	101人 内訳: 男性79人 (78%) 女性22人 (22%)	推定2,020人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。
対象診療年月は令和2年3月～令和3年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

薬物療法が発生している患者のみ分析対象とする。

参考資料

※治療患者数…平成26年患者調査(総患者数, 性・年齢階層×傷病小分類別)

http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020103.do?_toGL08020103_&listID=000001141596(アクセス日:令和3年3月31日)

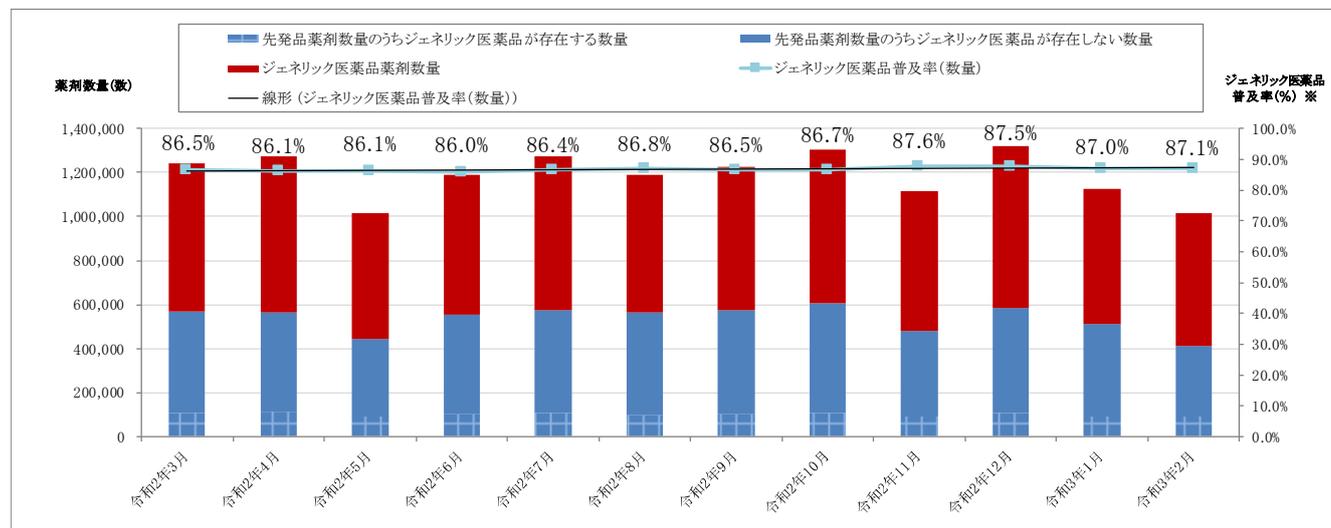
※潜在患者数…Fukuchi Y, et al, COPD in Japan: the Nippon COPD Epidemiology study, *Respirology*. 2004Nov;9(4):458-65

ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図ります。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点があります。

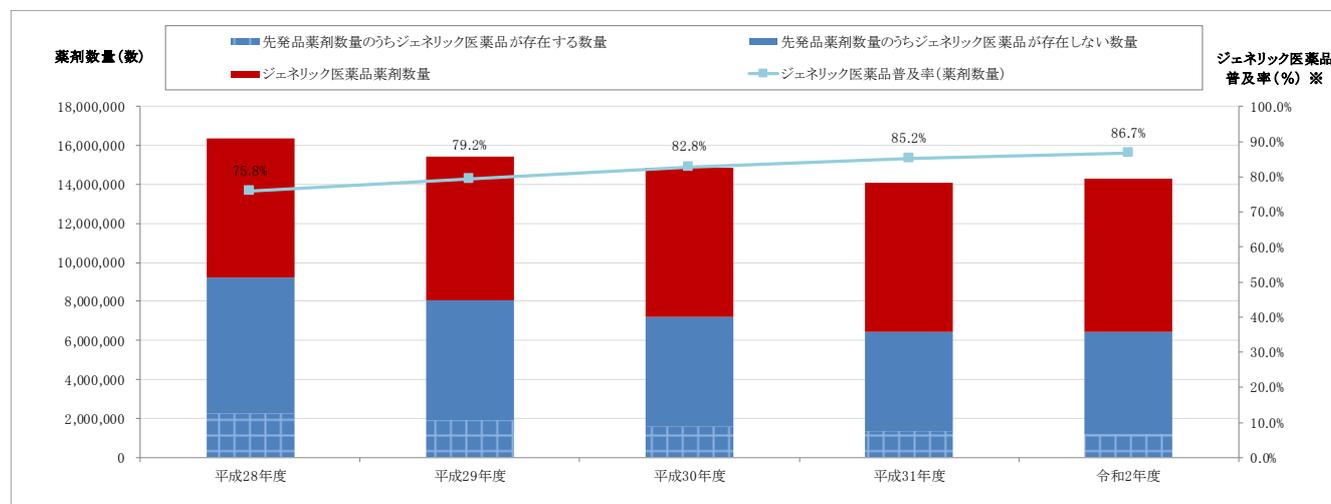
以下は、令和2年3月～令和3年2月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(数量ベース)を示したものです。現在ジェネリック医薬品普及率は、86.7%(数量ベース)となっています。

【単年度】 ジェネリック医薬品月別普及率(医科調剤レセプト、数量ベース)



平成28年度から令和2年度における、ジェネリック医薬品普及率(医科調剤レセプト)を年度別に示す。令和2年度ジェネリック医薬品普及率(医科調剤レセプト)86.7%は、平成28年度75.8%より10.9ポイント上昇しています。

【年度別】 ジェネリック医薬品月別普及率(医科調剤レセプト、数量ベース)



※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

令和3年度 倉吉市国民健康保険
ポテンシャル分析 概要版

令和4年 2月

【発行】 鳥取県 倉吉市

【編集】 倉吉市 健康福祉部 保険年金課

(住所) 〒680-8571
鳥取県倉吉市堺町二丁目253番地1
倉吉市役所第2庁舎

(電話) 0858-22-8151